

函館市交通事業経営ビジョン進行管理

函館市交通事業経営ビジョン進行管理全体総括(令和5年度)

【平成29年度～令和3年度(当初ビジョン 前期5か年)】

前期5か年は、軌道や電路の改良、停留場へのスロープ設置のほか、事故防止に係る研修や訓練を行うなど、安全性の向上に向けた取り組みを進めました。

また、1両の超低床車を導入し、11両の車体改良を実施したほか、乗務員への接客研修の実施やICカードの活用を図るなど、快適性や利便性の向上へ向けた取り組みを進めました。

効率的な組織づくりの取り組みとしては、交通部事業課および電車乗務員養成所における職員数の見直しを行いました。

上記取り組みを進めてきましたが、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の深刻な影響を受け、乗車料金収入が激減したこと等を踏まえ、財政計画を中心とした「函館市交通事業経営ビジョン」の中間見直しを行い、今後は中間見直し後の改訂ビジョンに基づき、進行管理を行うこととしたところです。

【令和4年度～令和5年度(改訂ビジョン 後期5か年2年目まで)】

令和5年度は、お客様の快適な利用環境を整えるため、バリアフリー対応の超低床車(台車部分※)を購入したほか、電車の運行情報をリアルタイムで発信するロケーションシステムを導入し、利便性の向上に取り組みました。

また、市電に対する理解と関心を深めていただく取り組みとして、路面電車開業110周年を記念したイベントを開催いたしました。

一方で、電気料金や資材価格等の高騰に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなど、想定を超える経営環境の悪化により、本ビジョンの最終年である令和8年度末に多額の資金不足が生じる見通しとなったことから、将来にわたる安定的な事業運営のため、乗車料金の見直しや、新たな利便性向上対策の実施を前提とした「函館市交通事業経営ビジョン」の再改訂に着手しました。

※車体部分については、令和4年度に購入済み。

基本方針および施策目標の取り組み状況(平成29年度～令和5年度)

		上段:評価件数 下段:割合						
基本方針および施策目標		「B」 評価 以上	「A」 評価	「B」 評価	「C」 評価	「D」 評価	「－」 評価なし	計
1 安全で 公共交通 の信頼さ	(1)安全性の向上	4	0	4	0	0	0	4
	計	4	0	4	0	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
2 便利で 快適な輸 送の提供	(1)快適性の向上	2	0	2	0	0	0	2
	(2)利便性の向上	5	1	4	0	0	0	5
	計	7	1	6	0	0	0	7
		100%	14%	86%	0%	0%	0%	100%
3 まちや地 域への貢 献	(1)地域社会への貢献	3	1	2	0	0	0	3
	計	3	1	2	0	0	0	3
		100%	33%	67%	0%	0%	0%	100%
4 経営基 盤の強 化	(1)収益力の向上	2	1	1	0	0	0	2
	(2)経営の効率化	2	0	2	0	0	0	2
	計	4	1	3	0	0	0	4
		100%	25%	75%	0%	0%	0%	100%
合計		18	3	15	0	0	0	18
		100%	17%	83%	0%	0%	0%	100%

- A：完了した・計画を上回っている

B：概ね計画どおりに進んでいる

－：評価なし
- C：計画を下回っている

D：著しく計画を下回っている